­地域の担い手定着応援事業（新規就農者の育成・定着支援）事務処理要領

**第１　事務の内容**

地域の担い手定着応援事業の親方農家（以下「親方農家」という。）が行う、新規就農者に対する地域への円滑な溶け込み、早期経営安定のための栽培技術・農業経営に関する指導・助言、販路の確保、経営規模拡大その他新規就農者の課題解決のために必要な事項に係る支援活動（以下「支援活動」という。）について、ひょうご農林機構は次の事務を行う。

1. 親方農家、新規就農者及び農業改良普及センター所長（以下「所長」という。）との連絡調

　　整

1. 親方農家の登録
2. 新規就農者を被保険者とする傷害保険への加入
3. 親方農家への指導料の支払い

**第２　親方農家の認定等**

１　親方農家の認定は所長が行う。

２　次に掲げる要件を満たす者は、その住所又は主たる事業所を管轄する所長に対して、親方　　農家の認定申請を行うことができる。（様式１号の１、２）

（１）主に兵庫県内において農業経営を行う者又はその組織する団体であること。

（２）次のいずれかに該当する者又はその組織する団体であること。

①　農業経営士（兵庫県農業経営士認定要綱に基づき認定された者）

②　女性農業士（兵庫県女性農業士・女性漁業士認定要綱に基づき認定された者）

③　青年農業士（青年農業士認定要綱（公益社団法人兵庫みどり公社）第９の規定により認定された者）

④　農業次世代人材投資資金（準備型）研修機関の認定を受けた者

⑤　農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第13条第１項に規定する認定農業者

⑥　応援プラン作成又は作成予定の応援チームに属する集落営農組織、農会、生産部会等の団体

⑦ 所長が①～⑥に準ずると認める者

３　所長は、認定申請があった場合において、その申請内容が次に掲げる要件に該当すると認めるときは、親方農家の認定を行うものとする。

　（１）新規就農者に対し、支援活動を適切に行うことができると認められること。

　（２）申請者の農業経営年数や地域活動の実績等からみて、新規就農者に対する地域への定着支援を適切に行うことができると認められること。

４　所長は、親方農家の認定を行ったときは、その旨を遅滞なく申請者に通知するとともに（様式２号の１）、ひょうご農林機構理事長に報告するものとし（様式２号の３）、親方農家の認定を行わなかったときは、その旨を遅滞なく申請者に通知するものとする（様式２号の２）。

５　親方農家は、認定申請に係る親方農家指導計画（様式１号の２）の親方農家による支援内容に関する重要な変更が生じたときは、所長の認定を受けなければならない。

　　その手続きは第２の３及び４を準用する。

６　所長は、親方農家から認定の取消しの申請があったとき（様式３号の１）、又は親方農家が認定申請に係る指導計画の内容（様式１号）に従って適切な支援活動を行っていないと認めるときは、親方農家の認定を取消し、ひょうご農林機構理事長へ報告する。（様式３の２）

**第３　募集及びマッチング**

１　ひょうご農林機構理事長は、地域との結びつきが弱く、生活・営農両面における継続的な親方農家による支援を受けたい新規就農者を地域から募る。

　　支援希望者は、支援申込書（様式４号の１、２）を、所長を経由してひょうご農林機構理事長に提出する。

２　所長は、親方農家と新規就農者（法人等ステップアップ型にあっては、新規就農者を雇用する法人等（以下「法人等」という。）を含む。）からヒアリングし、地域営農の実態、本人の性質、指導方向等のマッチングを行う。

親方農家は、その結果を踏まえて承諾書（様式５号）を、所長を経由してひょうご農林機構理事長に提出する。

**第４　事業計画**

第３第２項のマッチングが整い、助成を受けようとする親方農家は、別記の「１　親方農家が行う支援活動」を踏まえて事業計画書を作成し、所長を経由してひょうご農林機構理事長に提出するものとする。

**第５　受け入れの通知**

ひょうご農林機構理事長は、第４の事業計画書の提出を受けて、新規就農者、親方農家（法人等ステップアップ型にあっては法人等をふくむ。）及び所長に受入れを通知する。（様式７号の１～３）

**第６　事業計画の変更**

　　　親方農家は、第４に定める事業計画を変更するときは、変更事業計画書を作成し、所長を経由してひょうご農林機構理事長に提出するものとする。（様式６号）

**第７　実績報告及び助成金の支払**

　　　親方農家は、事業計画を完了した場合は遅滞なく実績報告書兼助成金請求書（様式８号）を、所長を経由してひょうご農林機構理事長に提出するものとする。

これを受けてひょうご農林機構理事長は、指導料を親方農家に支払う。

**第８　その他**

　　　この要領に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附則

　１　本要領は令和２年４月１日から適用する。

　２　本要領は令和３年４月１日から適用する。

別記（第１関係）

**１****親方農家が行う支援活動**

1. 指導期間は、計画承認（受入れの通知）日から翌年の２月末までとする。
2. 新規就農者に対して、次の区分ごとに支援活動を行う。
	1. 地域応援型　　　　　　　　　 150時間以上
	2. 法人等ステップアップ支援型　　 90時間以上

（３）新規就農者の営農状況や技術レベルの把握に努め、個別状況に応じて必要とされる応援活動を行う。

法人等ステップアップﾟ支援型の場合、新規就農者の雇用主と適宜情報交換を行い、効果的に指導・支援を行うよう努めること。

　　　また、雇用主の了解があれば、雇用就農者が、将来独立就農を目指す目的も可とする。

（４）事故等により、新規就農者に対する応援活動の継続が不可能になった場合は、速やかに農業会議に報告すること。

（５）本事業終了後も、新規就農者が地域に定着できるよう、育成支援の継続に努めること。

（６）事業完了後、応援活動の内容について報告を求めることがある。

**２　傷害保険の補償内容**

1. 死亡・後遺障害　　200万円
2. 入院治療日額　　　　3千円
3. 通院治療日額　　　　2千円

**３ 指導料**

（１）地域応援型　　 新規就農者1名につき25万円

（２）法人等ステップアップ支援型 新規就農者１名につき15万円

様式１号の１（第２の２関係）

令和　年　月　日

地域の担い手定着応援事業親方農家認定申請書

　○○農業改良普及センター所長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　〒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人名

　　　 （組織名）

ふ り が な

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　　（親方農家）　　　　　廃止

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（電話番号：　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（E-mail ：　　　　　　　　　　 ）

地域の担い手定着応援事業について、関係書類を添えて親方農家の認定を申請します。

様式１号の２（第２の２関係）

地域の担い手定着応援事業親方農家指導計画

１　経営概要

|  |  |
| --- | --- |
| 区分（該当する番号に○印） | １ 農業経営士　 ２ 女性農業士 ３ 青年農業士　 ４次世代人材５ 認定農業者　 ６　任意組織(団体)　　 応援プラン名（　　 　）7　その他( ) |
| 営農類型 |  |
| 経営地 |  | 生年月日 | 　　年　　月　　日 |
| 栽培品目等 |  |
| 経営規模 |  |

２　経営で力を入れていること

|  |
| --- |
|  |

３　新規就農者に指導したい内容（指導対象品目：　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 時　期 | 場所 | 内　　　容 |
| １　地域への溶け込み |  |  |  |
| ２　栽培技術 |  |  |  |
| ３　経営指導 |  |  |  |
| ４　販路の確保 |  |  |  |
| ５　規模拡大 |  |  |  |
| ６　その他 |  |  |  |

＊時期欄については、○月または○月○旬と記入してください。

４　新規就農者をどのような農業者に育成したいか（将来の展望等に関して）

|  |
| --- |
|  |

５　その他、指導や応援活動で特筆できること

|  |
| --- |
| （例）農地や住居を紹介できる。 |

様式２号の１（第２の４関係）

番　　　　　　号

令和　年　月　日

　　（親方農家）　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○農業改良普及センター所長

地域の担い手定着応援事業親方農家の認定

平素は、本県農政の推進にご協力を賜りまして、誠に有り難うございます。

標記の件について、申請内容を審査した結果、地域の担い手定着応援事業「親方農家」として認定することに決定しましたのでお知らせします。

今後、新規就農者とのマッチングを行う場合は、改めてご連絡しますのでよろしくお願いいたします。

様式２号の２（第２の４関係）

番　　　　　　号

令和　年　月　日

　（親方農家）　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○農業改良普及センター所長

地域の担い手定着応援事業親方農家の不認定について

平素は、兵庫県農林水産行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県が新規就農者の育成のために実施した「地域の担い手定着応援事業親方農家」にご応募いただき、誠にありがとうございました。

このたび、ご応募いただいた指導計画を審査した結果（＊必要に応じて現地確認についても記載）、○○○○○の（であった）ため、ご希望に添えないことになりましたのでお知らせします。

今後とも、本県農林水産行政への格別のご理解をお願いします。

様式２号の３（第２の４関係）

番　　　　　　号

令和　年　月　日

　公益社団法人ひょうご農林公社理事長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○農業改良普及センター所長

地域の担い手定着応援事業親方農家の登録について（報告）

地域の担い手定着応援事業実施要領第２の３に基づき、別添写しのとおり親方農家を決定したので報告します。

記

添付資料

（１）地域の担い手定着応援事業親方農家認定申請書（様式１号の１、２）

（２）地域の担い手定着応援事業親方農家認定通知（様式２の１）

（４）管内の親方農家の登録一覧

様式３号の１（第２の６関係）

令和　年　月　日

地域の担い手定着応援事業にかかる親方農家認定取消し申請

　○○農業改良普及センター所長　様

 住　所

 氏　名　　（親方農家）　　　廃止

　地域の担い手定着応援事業にかかる親方農家登録について、下記の理由により、認定の　取消しを申請します。

記

【認定取消し届けの理由】

記載例

息子に経営継承したため、事業主ではなくなったため

一身上の都合による

自身の農業経営内容を整理していてるため

様式３号の２（第２の６関係）

番　　　　　　号

令和　年　月　日

　公益社団法人ひょうご農林機構理事長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○農業改良普及センター所長

地域の担い手定着応援事業親方農家の認定取り消しについて

地域の担い手定着応援事業実施要領別記２の第２の６に基づき、下記親方農家の認定を　取消しましたので報告します。

記

添付資料

（１）地域の担い手定着応援事業にかかる親方農家認定取消し申請（様式３号の１）

（２）管内の親方農家の登録一覧

様式４号の１（第３の１関係）【地域応援型】

支援申込書（地域応援型）

　公益社団法人ひょうご農林機構理事長　様

　（○○農業改良普及センター所長　様　経由）

 〒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふ り が な

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　　名　　　（新規就農者）　　廃止

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（電話番号：　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（E-mail ：　　　　　　　　　　 ）

令和　年度地域の担い手定着応援事業の親方農家による支援を、関係書類を添えて申し込みます。

【地域応援型】

令和　年度地域の担い手定着応援事業　新規就農者の計画

１　概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 性別 | 男・女 | 生年月日（年齢） | 　年　　月　　日（　　歳） |
| 出身地 |  | 就農状況 | ①農家出身（親とは別経営）②非農家出身、③その他（　　　　　　） |

２　就農の動機

|  |
| --- |
|  |

３　過去の農業研修の経歴

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　月 |  |
| 　　年　　月 |  |
| 　　年　　月 |  |
| 年　　月 |  |
| 年　　月 | 当地に就農 |
| 県機関での研修歴（該当する項目を○で囲んでください） | 県立農業大学校・卒業生・就農チャレンジ研修・実践研修 | 　兵庫楽農生活センター・新規就農駅前講座　・生きがい農業コース・就農コース・有機農業コース |
| その他（該当する項目を○で囲んでください） | ・新規就農離陸加速モデル推進事業（就農促進研修事業）・「農」の雇用事業・農業次世代人材投資事業（青年就農給付事業）準備型（研修先：　　　　　　　）・ひょうごの農トライアル事業（インターンシップ）・雇用就農者独立支援事業・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

４　農業経営の現況

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 | 内　　容 |
| 営農類型 |  |
| 経営地 | 所在地： |
| 農地の使用収益権を有してますか？ （　はい　・　いいえ　）　＊畜産等を除く |
| 主な栽培品目等 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 経営規模(a) |  |  |  |  |  |  |  |
| 出荷量(ｔ,kg) |  |  |  |  |  |  |  |
| 販路毎の出荷量 |  |

５　親方農家から指導を受けたい内容（品目：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 | 内　　　容 |
| １　地域への溶け込み |  |
| ２　栽培技術 |  |
| ３　経営指導 |  |
| ４　販路の確保 |  |
| ５　規模拡大 |  |
| ６　その他 |  |

６　将来の展望

|  |
| --- |
|  |

様式４号の２【法人等ステップアップ支援型】

　支援申込書（法人等ステップアップ支援型）

　公益社団法人ひょうご農林機構理事長　様

　（○○農業改良普及センター所長　様）

〒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　農業法人等名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふ り が な

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職・氏名　　　　　　　　　　　　廃止

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（電話番号：　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（E-mail ：　　　　　　　　　　 ）

新規就農者氏名

令和　年度地域の担い手定着応援事業の親方農家による支援を、関係書類を添えて申し込みます。

【法人等ステップアップ支援型】

令和　年度地域の担い手定着応援事業　新規就農者の計画

１　農業法人等の経営概要

|  |  |
| --- | --- |
| 農業法人等名 |  |
| 経営形態 | １　法人経営　　２　個人経営 | 経営開始年月 | 　　　年　　　月 |
| 認定状況 | １　認定農業者　２　認定新規就農者　 |
| 従業員数 | 　　　　　名（うちパート　　名） |
| 営農類型 |  |
| 経営地 |  |
| 経営規模（作目・面積・頭数） | 新部門導入前 |  |
| 新部門導入後 |  |

２　新規就農者の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 性別 | 男・女 | 生年月日（年齢） | 　年　　月　　日（　　歳） |
| 就農前の住所 |  | 就農後の住所 |  |
| 雇用開始時期 | 　年　　月　　日　～ | 雇用形態 | １　役員　　　　　　２　正社員３　有期の契約社員　４　アルバイト５　その他（　　　　　　　　） |
| 新規就農者が担う部門 |  |

３　新規就農者の過去の農業研修の経歴

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　月 |  |
| 　　年　　月 |  |
| 年　　月 |  |
| 年　　月 | 当地に就農 |
| 県機関での研修歴（該当する項目を○で囲んでください） | 県立農業大学校・卒業生・就農チャレンジ研修・実践研修 | 　兵庫楽農生活センター・新規就農駅前講座　・生きがい農業コース・就農コース・有機農業コース |
| その他（該当する項目を○で囲んでください） | ・新規就農離陸加速モデル推進事業（就農促進研修事業）・「農」の雇用事業・農業次世代人材投資事業（青年就農給付事業）準備型（研修先：　　　　　　　）・ひょうごの農トライアル事業（インターンシップ）・雇用就農者独立支援事業・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

４　計画

　 （１）現状

|  |  |
| --- | --- |
| 雇用主から見た新規就農者の現状 |  |
| 新規就農者に必要な技術等※ |  |
| 新規就農者に期待すること |  |
| （２）指導内容 |
| 農業法人等で指導する内容※ |  |
| 親方農家に指導を受けたい内容※ |  |
| （３）成果目標 |
| 農業法人等の当事業による成果目標 |  |

※新部門の立ち上げ、栽培技術、経営管理、人脈作り、販路拡大、一般的な農業知識の習得、社会常識等、具体的に記載すること。

５　農業法人等の経営における将来の展望

様式５号（第３の２関係）

承　　　諾　　　書

公益社団法人ひょうご農林機構理事長　様

（〇〇農業改良普及センター所長　様　経由）

　このたび親方依頼のありました【氏名：新規就農者】氏を地域の担い手として定着応援　することを承諾します。

また、研修生の個人情報を漏らさないこと、万が一、研修生とのトラブルがあった場合は、自己の責任において解決することを了承します。

　令和　　年　　月　　日

 〒

　　　　　　　　　　　　　　　　所在地

　　　　　　　　　　　　　　　　法人名　　　　　　 ※個人の場合は記入不要

(組織名)

　　　　　　　　　　　　　　　　代表者氏名　　 廃止

 （電話番号：　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　 　　　　　　　　（E-mail ：　　　　　　　　　　 ）

様式６号（第４関係）

地域の担い手定着応援事業計画書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　月　日

　公益社団法人ひょうご農林機構理事長　様

（〇〇農業改良普及センター所長　様　経由）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　(親方農家)　　　　　廃止

　地域の担い手定着応援事業計画書を別紙のとおり提出します。

（別紙）

地域の担い手定着応援事業計画書（変更計画書、実績報告書）

親方農家(組織・代表者)

１　親方の経営概要

|  |  |
| --- | --- |
| 区分（該当する番号に○印） | １ 農業経営士　 ２ 女性農業士 ３ 青年農業士　 ４次世代人材５ 認定農業者　 ６　任意組織(団体)　　応援プラン名（　　 　）7　その他( )  |
| 営農類型 |  |
| 所在地 |  | 年齢 |  |
| 栽培品目等 |  |
| 経営規模 |  |
| 経営で力を入れていること |  |

２　新規就農者の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 |  | 性別 |  | 年齢 | 才 |
| 法人等ステップアップ型の場合 | 雇用事業者名： |

　　　＜過去の農業研修の経歴＞

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　月 |  |
| 　　年　　月 |  |
| 年　　月 |  |
| 年　　月 | 当地に就農 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 事業実施前 | 事業実施後 |
| 営農類型 |  |
| 所在地 |  |
| 栽培品目等 |  |  |
| 経営規模 |  |  |
| 販路毎の出荷量 |  |  |

　　 （注）事業実施後欄は、実績報告時のみ記入すること。

３　応援活動計画（又は実績）

（１）活動期間

　　　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

1. 活動計画（又は実績）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 日程 | 活動内容（具体的に記入のこと） | 活動時間 |
| 地域への溶け込みのサポート | 　 ／　 ／ | ・・ | 　　時間 |
| 栽培技術の指導・助言 | 　 ／　 ／ | ・・ | 　　時間 |
| 経営方法の指導・助言 | 　 ／　 ／ | ・・ | 　　時間 |
| 販路の確保の支援 | 　 ／　 ／ | ・・ | 　　時間 |
| 経営規模の拡大のサポート | 　 ／　 ／ | ・・ | 　　時間 |
| その他 | 　 ／　 ／ | ・・ | 　　時間 |

　　（注）日程欄については、計画時は時期（○月○旬）、実績報告時は日付（○月○日）を記入してください。

　　（注）活動内容は、新規就農者の課題と整合性を取り、全ての欄に記入してください。

　　（注）実績報告時は「指導状況日誌」を添付してください。

４　事業完了（予定）年月日　　　令和　　年　　月　　日

様式７号の１（第５関係）

地域の担い手定着応援の受け入れについて（通知）

令和　年　月　日

(新規就農者)　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　公益社団法人ひょうご農林機構理事長　　廃止

このたび申込みのありました地域の担い手定着応援について、あなたを応援対象として　下記の親方農家が引き受けることに決定しましたのでお知らせします。

記

１　親方農家名

２　連絡先(住所)

３　留意事項

1. 今後は、計画書に基づき、親方農家から指導を受けてください。
2. 活動日には、指導状況日誌を作成してください。
3. 活動中にトラブル等がありましたら、農業改良普及センターを通じて、ひょうご農林

機構にご連絡ください。

1. 活動中に負傷した時は、農業改良普及センターを通じて、ひょうご農林機構にご連絡

ください。

様式７号の２（第５関係）

　　　　　　　　　　　　　　令和　年　月　日

（親方農家）　　様

（法人等）

　　　　　　　　　　公益社団法人ひょうご農林機構理事長

地域の担い手定着応援事業にかかる定着応援について

　（親方農家あて）

このたびは、新規就農者の定着応援をご承諾いただきありがとうございます。

新規就農者あて、別添地域の担い手定着応援受入通知を送付しましたのでお知らせします。

（法人等あて）

このたびは、新規就農者の定着応援にご協力いただきありがとうございます。

新規就農者あて、別添地域の担い手定着応援受入通知を送付しましたのでお知らせします。

様式７号の３（第５関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　年　月　日

　　○○農業改良普及センター所長　様

　　　　　　　　　　公益社団法人ひょうご農林機構理事長

地域の担い手定着応援事業に係る定着応援について(通知)

貴管内において、下記のとおりマッチングを行い、新規就農者及び親方農家に通知しましたのでお知らせします。

　　新規就農者又は親方農家から相談等がありましたら、ご指導、ご支援をいただきますようお願いします。

記

１　新規就農者

　　　氏名　　　　　　　　　　　（年齢　性別）

　　　住所

２　親方農家

　　　氏名

　　　住所

３　実施期間

様式８号（第７関係）

　地域の担い手定着応援事業(新規就農者の育成・定着支援)実績報告書兼助成金請求書

令和　年　月　日

公益社団法人ひょうご農林機構理事長　様

（〇〇農業改良普及センター所長　様　経由）

所在地

法人名 　　　 　※個人の場合は記入不要

（組織名）

代表者氏名 印

このことについて、下記により報告するとともに、助成金　　　　　　　　円を請求します。

記

１　実績報告書

　　別紙のとおり

２　助成金振込口座

①金融機関名〔　　　　　　　　〕本支店名〔　　　　　　 　 　〕

②普通又は当座の区別〔　　　　　　　　　〕

③口座番号〔　　　　　　　　　　 　　　　〕

④口座名義（ふりがな）〔　　　　　　　　　　　　 　〕

（注）　①振込口座は、原則農業者の取引口座としてください。

　　　　②口座番号は、通帳をご確認のうえ、間違いのないようにご記載ください。

（実績報告書に添付）

指導状況日誌

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 親方農家氏名 |  | 指導受講者氏名 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付活動時間数 | 指導を受けた内容 | 感想 | 親方農家意見 |
| 　月　　日　　時間 |  |  |  |
| 　月　　日　　時間 |  |  |  |
| 　月　　日　　時間 |  |  |  |
| 　月　　日　　時間 |  |  |  |
|  | 行を挿入 |  |  |
| 時間 |  |  |  |